

独立行政法人 日本学術振興会
平成22～25年度 先端研究助成基金
「最先端・次世代研究開発支援プログラム」

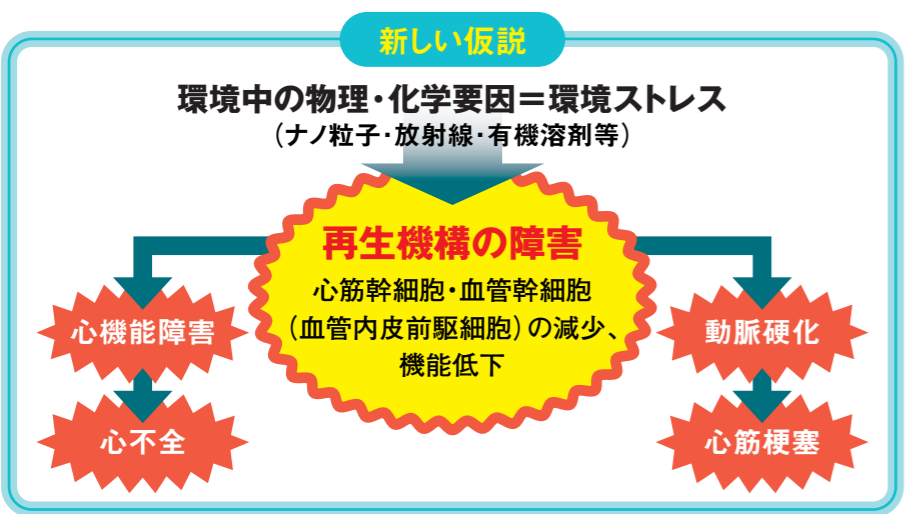
環境ストレスによる心血管系障害に対する予防システムの確立

環境ストレスによる心血管障害のリスク評価 心血管疾患の発症予防・治療法を確立

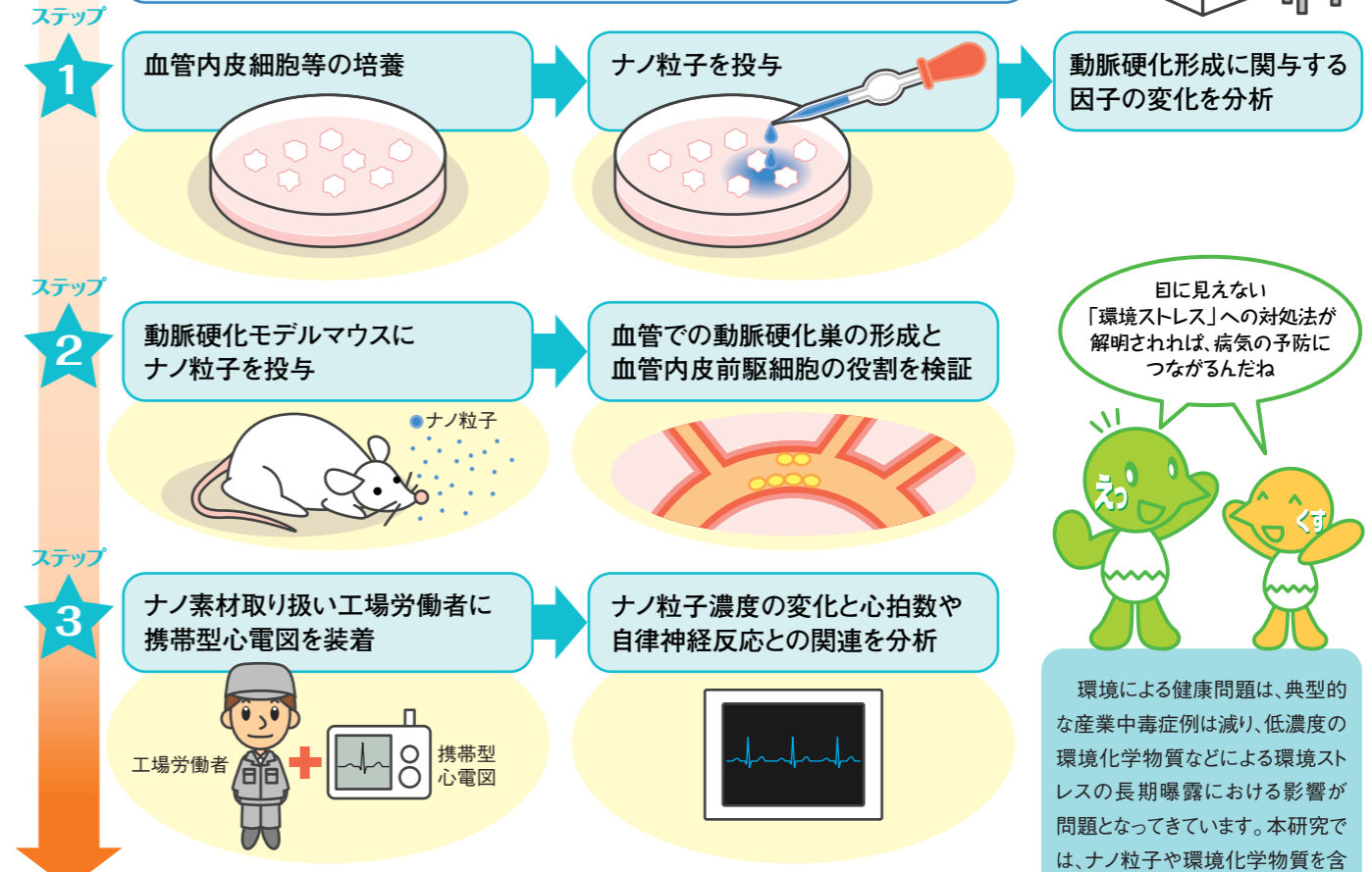
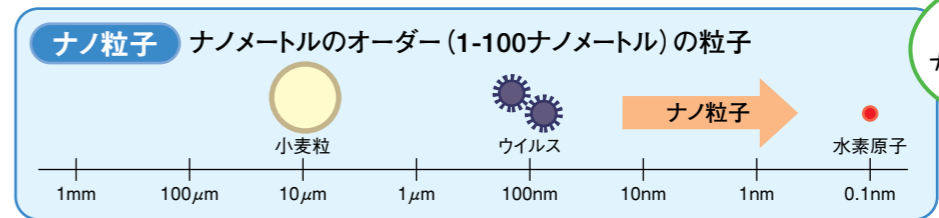
超高齢社会を迎えたわが国の医学・医療の課題は、「健康な高齢者を増やす」ことです。高齢者のADL (Activities of Daily Living)*を損なう最大の原因は、脳血管を含めた血管系疾患であり、心疾患や血管系疾患に対する有効な予防法や治療薬の開発が急務です。本研究は、環境ストレスによる健康影響に着目し、環境ストレスによる心血管系に対するリスク評価やメカニズムを明らかにして、生活習慣や過労等による循環器疾患の病態解明や発症予防・治療法の確立に寄与し、医療費の削減や元気で活力のある社会の実現に貢献します。

*ADL=日常生活動作

- mission**
- 環境ストレスによる心筋・血管内皮細胞に対する障害の作用メカニズムを解明
 - 心血管系疾患の発症や初期症状の診断に有効なバイオマーカーの確立



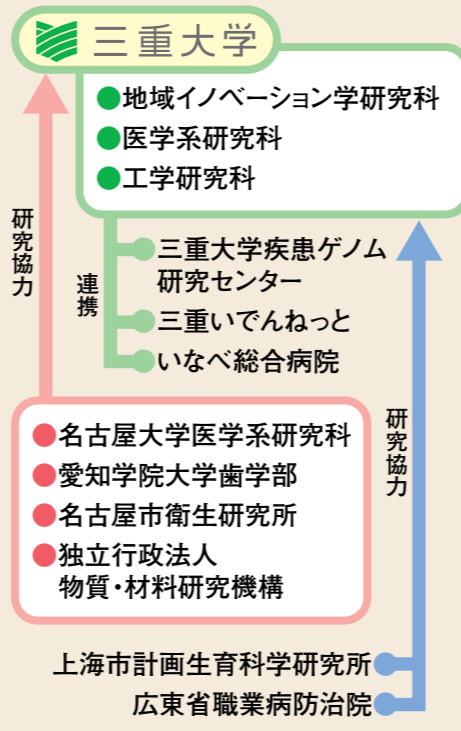
ナノ粒子の血管系に対する影響の評価



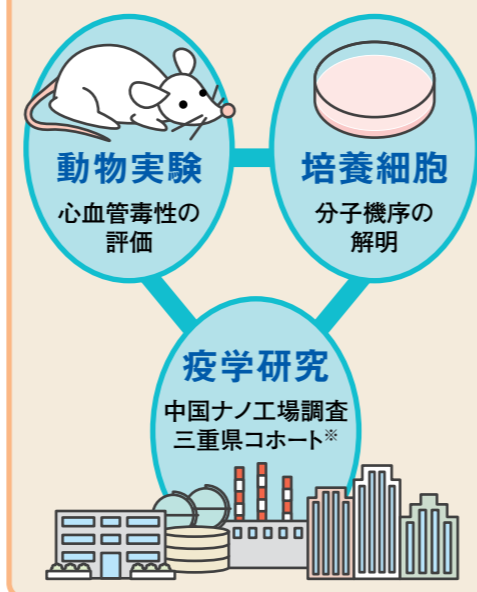
環境による健康問題は、典型的な産業中毒症例は減り、低濃度の環境化学物質などによる環境ストレスの長期曝露における影響が問題となってきています。本研究では、ナノ粒子や環境化学物質を含めた環境ストレスによる心臓や血管に対する障害の作用メカニズムを解明し、また心血管疾患の初期症状の診断に有効なマーカーを同定し、心血管疾患の予防法の確立を目指しています。

地域イノベーション学研究所 准教授
市原 佐保子
Ichihara, Sahoko

研究実施体制



実施方法



*コホート=同じ外的条件におかれた集団

ナノ素材の安全性評価

安全安心なナノ素材の開発の発展

環境ストレスのリスク評価を介した疾病予防への貢献